

● **意思疎通支援事業**／聴覚障害者などが手話通訳・要約筆記を必要とする際に、手話通訳者・要約筆記者を派遣する事業です。派遣にはあらかじめ申請が必要です。

● **手話奉仕員養成講座**／手話奉仕員とは、手話で日常会話ができ、手話を使ってボランティア活動を行うことができる人のことです。手話奉仕員を養成するための講座を有田圏域で実施しています。手話奉仕員になるためには、この講座を修了する必要があります。

こんなときに助けてください

聴覚障害は外見からは分かりづらいため、困っていることに気づかれないことがあります。聴覚障害者は次のようなことに困っていることがあるので、気づいたら手助けしてください。

● **マスクをしていると理解しづらい**／聴覚障害者にとって、口の動きや表情は話の内容を理解するために必要なツールです。そのため、マスクをつけた状態で話しかけると内容を理解しづらくなります。

- ・マスクを外せない状況であれば、筆談やスマホに文字を表示させるなどして内容を伝えましょう。マスクを外せる状況であれば、マスクを外し、ゆっくり口の動きを見せて内容を伝えましょう。

● **周囲の状況が分からない**／自動車のクラクションや踏切の警笛など、身に迫る危険に音で気づくことができません。また、視界の外から呼びかけられても反応できません。

- ・背後から急に触れられると驚いてしまうので、緊急時以外は視界に入る場所から話しかけて内容を伝えましょう。

● **複数の会話が難しい**／複数人が同時に話すと、相手全員の口の動きや表情が見れず、内容を理解することが難しくなります。

- ・1人ずつ順番にゆっくり話すようにしましょう。聴覚障害者が補聴器を付けている場合は、大きな声ではっきり話しましょう。

ご存じですか？聴覚障害に関するマーク

● **耳マーク**／聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。このマークを付けている人を見かけたら、手話や筆談で話すなどのサポートをしてください。

● **聴覚障害者標識**／自動車などの運転者に聴覚障害があることを示すマークです。このマークを貼った自動車などを見かけたら、割り込みや幅寄せなどを行わないなど運転に配慮してください。



出張版！

手話にチャレンジ！ 日常生活で使える手話

こんにちは



①右手の人さし指と中指を立て、額に当てる。



②両手の人差し指が向かい合うように立て軽く曲げる。

ありがとう



①左手の甲に右手を垂直にのせて上にあげる。



②頭はお辞儀するように軽く下げる。

※手話は、使う人やコミュニケーションをとる相手などによって異なるため、ここで紹介している手話と違う表現を使うことがあります。